

準指導員検定・模擬問題（養成講習会）

所属クラブ		氏名	
-------	--	----	--

1. 「スキー指導者規定」に掲げる指導員の任務を述べなさい。

1.

2. 「スキー指導者規定」に掲げる指導員の義務を述べなさい。

1.

2.

3. 「スキー指導者規定」に掲げる指導員の資格の停止を述べなさい。

1.

2.

4. 「スキー指導者規定」に掲げる指導員の資格の喪失を述べなさい。

1.

2.

(1)

(2)

(3)

3.

5. スキー技術の特性を3つあげなさい。

6. 栃木県スキー連盟の役員名を述べなさい。

(1) 会長

(2) 副会長

(3) 理事長

(4) 教育本部長

7. ターン運動の原因とスキー主導性について述べたものです。空欄に適切な語句を入れて文章を完成しなさい。

ターン運動の原因は、定説的な違いによって2つに分類されます。

「ターン外側へスキーの()を生起させるもの」は、『()』と『トップ&テールコントロール』が分類され、外スキーが主に使われます(「()」、「両スキー主導」)。「外スキー主導」は、ターン外側への落下運動に対して外側股関節を()させ、膝をなかにいれて抵抗をとらえます。「両スキー主導」は、外スキーに内スキーを()させるといふ点から、「外スキー主導」と同質の性格を持つといえます。

もう1つの、「()へスキーの落下運動を生起させるもの」は、『()』が分類され、内スキーが主に使われます。「内スキー主導」は、ターン内側への落下運動と同じ方向に内側股関節を()させ体重を乗せていきます。

外スキー主導の運動は安定的は「()運動感覚」により、内スキー主導の運動は重力をより積極的に利用できる「()運動感覚」によるものであるといえます。

8. スキー指導者の資質における技術力と製品力について述べられたものです。適当な語句を入れて文章を完成しなさい。

スキー指導(商品)の高い品質を実現させるものが、スキー指導者の商品(サービス)生産の技術力です。この指導者に求められる()の技術力は、つねに進化する()とその()の力によって支えられています。

「()な変化」に直面している現在、「技術力はあるが、()」ということが、よく問題にされています。具体的には「()」はできるが「()」はできないという問題です。スキー指導者がこの弱点をどう克服するかが、これからの重要な視点です。

技術力があるのは当然として、()(スキー指導)を顧客(スキーヤー)の()に基づいて商品化できる製品力の向上が、スキー指導者に求められているといえます。なぜならば、スキー指導者(スキー学校、スキークラブ)のもっとも重要な仕事は、「()」にあるからです。

1 2 . 関連のある人物と事柄、年代をそれぞれ結びなさい。

ハンネス・シュナイダー	・	・ a	テンポ・パラレル・シュブング完成	・	・ ア	1889 年
エミール・アレー	・	・ b	グリーンランド横断	・	・ イ	1896 年
マチアス・ツダルスキー	・	・ c	スキー・フランセ発表	・	・ ウ	1910 年
アントン・ゼロース	・	・ d	山岳滑降術	・	・ エ	1911 年
ゲオルグ・ビルゲリー	・	・ e	高田で初のスキー講習	・	・ オ	1924 年
シュテファン・クルッケンハウザー	・	・ f	スキーの驚異出版	・	・ カ	1930 年
フリチョフ・ナンセン	・	・ g	第7回冬季オリンピック・SL 2 位	・	・ キ	1938 年
ルディ・マット	・	・ h	バインシュピール技術発表	・	・ ク	1956 年
テエオドル・フォン・レルヒ少佐	・	・ i	リリエンフェルトスキー滑降術	・	・ ケ	1953 年
猪谷千春	・	・ j	オーストリア職業教師連盟会長、来日	・	・ コ	1958 年

1 3 . ショック症状の兆候と応急処置をそれぞれ5つ記しなさい。

兆 候

応急処置
